

霜田光一教授に学士院賞

3月12日に日本学士院は本学部・物理学教室の霜田光一教授に「レーザーの物理とそれに基づく分子分光学の研究」に対して学士院賞をおくると発表した。授賞式は6月に予定されている。霜田教授はレーザーの前身、メーザーの開発研究の初期からこれに携わり、その理論、実験の両面、また分光学的応用について多くの先駆的業績をあげられた。またレーザーの出現後もひきつづきその理論的解明、分光学への応用、時間および波長標準への応用などにおいて卓越したアイデアにもと

づく多くの研究成果があることが評価されたものである。日本のレーザーあるいは量子エレクトロニクスの分野において多くの研究者を育成し、組織化することについて果たされた功績も大きい。世界的にみてもレーザー等にかかわる物理的現象を深く追求した少数の科学者の1人であり、ことに分光学的研究においては世界の研究を終始リードしてこられた。この業績により1979年には米国光学会からMees賞が与えられている。

(清水忠雄・物理)